

こんにちは、ひろこくです



平成26年12月26日

広島国道事務所からの  
お知らせ

同時資料提供先 : 合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 休山トンネル（Ⅱ期）の工事に着手！

～平成27年1月10日（土）に起工式を行います～

国道185号休山新道は、呉市本通六丁目と呉市阿賀中央六丁目とを結び、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的として整備を進めている延長2.6kmの道路です。

休山新道は、現在暫定2車線で開通しているところですが、休山トンネル前後では、渋滞や交通事故が多く発生していることから、4車線化の整備を進めるため、休山トンネル（Ⅱ期）の工事に着手します。

については、工事の着手に先立ち、下記のとおり起工式を行いますので、お知らせします。

### 【起工式のお知らせ（別紙参照）】

- 開始日時 平成27年1月10日（土）10:00～  
（9:30より受付開始）  
式の進行は、次頁の式次第をご参照ください。
- 会場 阿賀中央公園（呉市阿賀中央二丁目地内）
- 主催 国土交通省広島国道事務所、広島県、呉市
- 取材 取材希望の方は、事前に下記問い合わせ先まで、お知らせください。  
駐車場は、阿賀中央公園内に用意しています。  
駐車の際は、係員の誘導に従ってください。

### （問い合わせ先）

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 いのうえ かずひさ  
井上 和久

TEL(082) 281 -4131 FAX(082) 286-7897

【広報担当】 計画課長 うめばやし いくひこ  
梅林 幾彦

TEL(082) 281 - 4131 FAX(082) 286 - 7897

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>

## 式次第〔休山トンネル(Ⅱ期)起工式〕

挨拶

来賓祝辞

来賓紹介

祝電披露

事業概要説明

鍬入れ

万歳三唱

閉式

# 起工式開催のお知らせ(概要)

休山トンネル(Ⅱ期)の工事着手に先立ち、次のとおり**起工式**を行います。

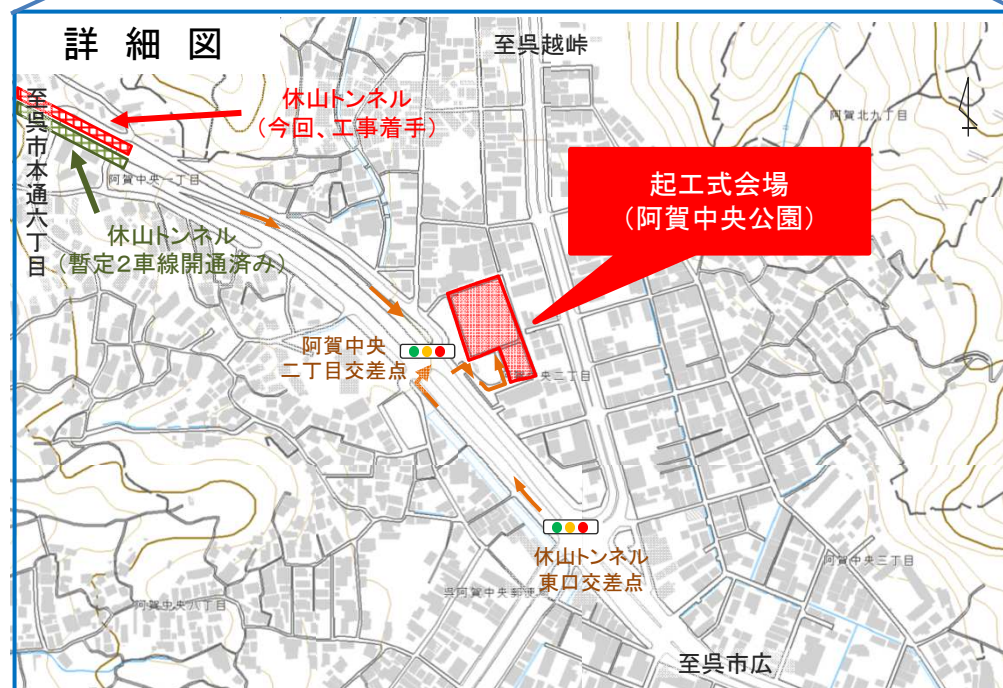
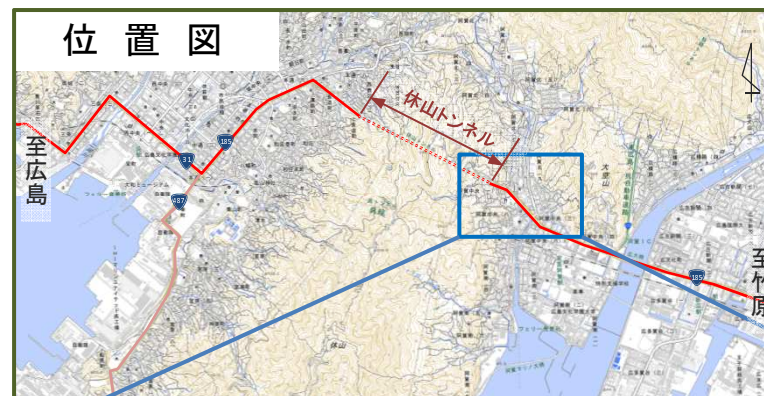
## ◇起工式の概要◇

開始日時：平成27年1月10日10:00～  
〔受付 9:30～〕

会場：阿賀中央公園  
(呉市阿賀中央二丁目地内)

駐車場：阿賀中央公園内に用意しています。  
駐車の際は、係員の誘導に従ってください。

※取材希望の方は、事前に広島国道事務所広報担当までお知らせください。



※資料中の地図は、地理院地図(国土地理院)を加工したものです。

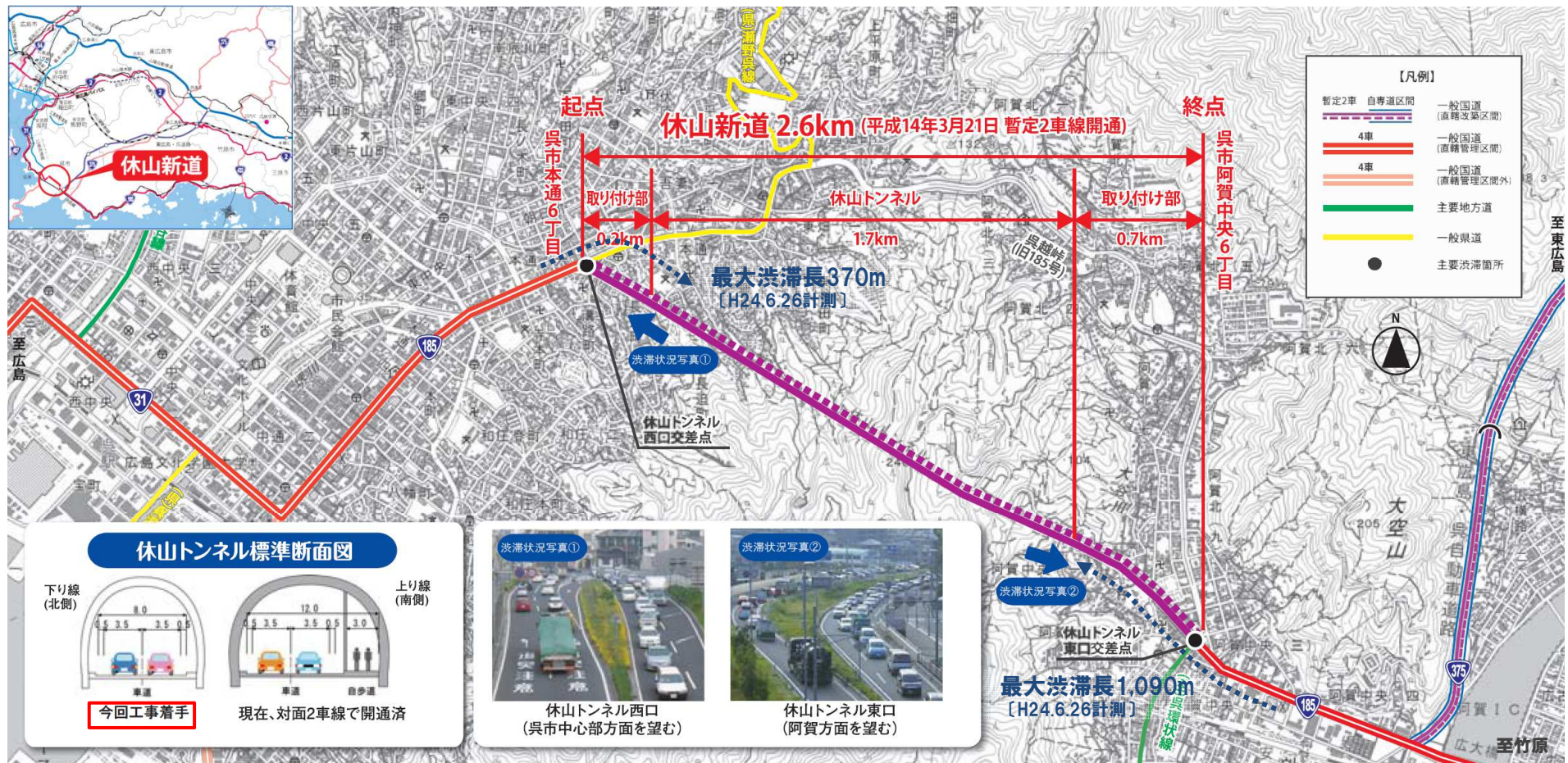


# 休山新道(4車線化事業)の概要

国道185号休山新道は、呉市本通六丁目と呉市阿賀中央六丁目とを結び、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的として整備を進めている延長2.6kmの道路です。

平成14年3月に休山新道が暫定2車線で開通したことにより、呉地区と阿賀・広地区との連絡性が向上し、呉越峠の渋滞が解消され、事故件数も減少しました。

しかし、休山トンネル前後では、渋滞や交通事故が多く発生していることから、現在開通済みの休山トンネルの北側において、4車線化に向けたトンネル工事に着手します。





# 休山新道(4車線化事業)の整備効果

休山新道の4車線化により、次のような効果が期待されます。

## その1 移動の円滑化

休山新道の入口付近で発生している朝夕の渋滞が解消されることで、通勤・通学等の利便性が向上し、産業活動も効率化されます。

また、救急搬送においても、搬送総時間が短縮することで、患者の負担軽減が図られます。



## その2 周辺地域との連携強化

東広島・呉道路や広島呉道路とともに、広島市、東広島市、呉市の3つの都市をより強く結びつけるとともに、呉港、広島空港などを結ぶ交通ネットワークを形成します。

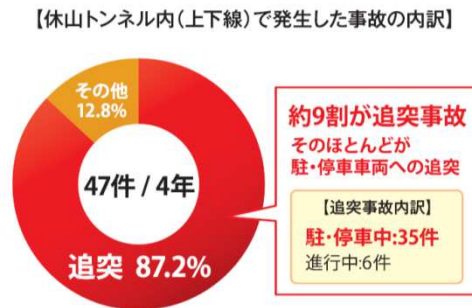


※整備前：平成11年道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出。  
現在：東広島呉道路は規制速度(70km/h)、その他は平成22年道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出。  
完成後：東広島呉道路の設定速度は80km/h、休山新道の設定速度は50km/hとして算出。

## その3 交通事故の減少

休山新道の開通(暫定2車線)により、死傷事故件数は半減しています。

現在は、休山トンネルやその周辺において渋滞に起因した事故が多発していますが、4車線化されることで、交通事故の減少が期待されます。



資料：(平成19～22年)交通事故統合データベース

## その4 通行止めの解消

平成11年の豪雨災害により通行止めが発生した呉・広間は、休山新道が開通し、利用できる通行経路が増えたことにより、通行止めの恐れは少なくなりました。

また、休山トンネル付近で発生した事故に対し、4車線化することにより、代替機能が確保されます。



※通常時：平成22年道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出。  
迂回時：平成11年道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出。